

第2章 台風第14号の状況整理

2.1 台風の経路

2022(R4)年9月14日3時小笠原近海で発生(中心の気圧996hPa、最大風速18m/s)した台風第14号は、日本の南を西に進み、海水の暖かい領域を進んだため、16日9時には大型で非常に強い台風に発達し、17日3時には大型で猛烈な台風となった。その後、17日から19日にかけて奄美地方の東海上に接近、北上し、大型で非常に強い勢力を維持しながら、18日13時半頃、屋久島付近を通過し、17時半頃に指宿市付近を通過、19時頃に鹿児島市付近に上陸した。その後、薩摩半島を北上し、19日3時頃に福岡県柳川市付近に達した。宮崎県は、17日の5時頃強風域に入り、18日10時頃に暴風域に入り、18日22時頃に最接近した。台風は、その後、次第に進路を北東に変え、19日16時半頃に島根県出雲市付近に、日付が変わり20日4時過ぎに新潟市付近に達し、20日9時に三陸沖で温帯低気圧に変わった(図2.1-1)。

【台風経路図】

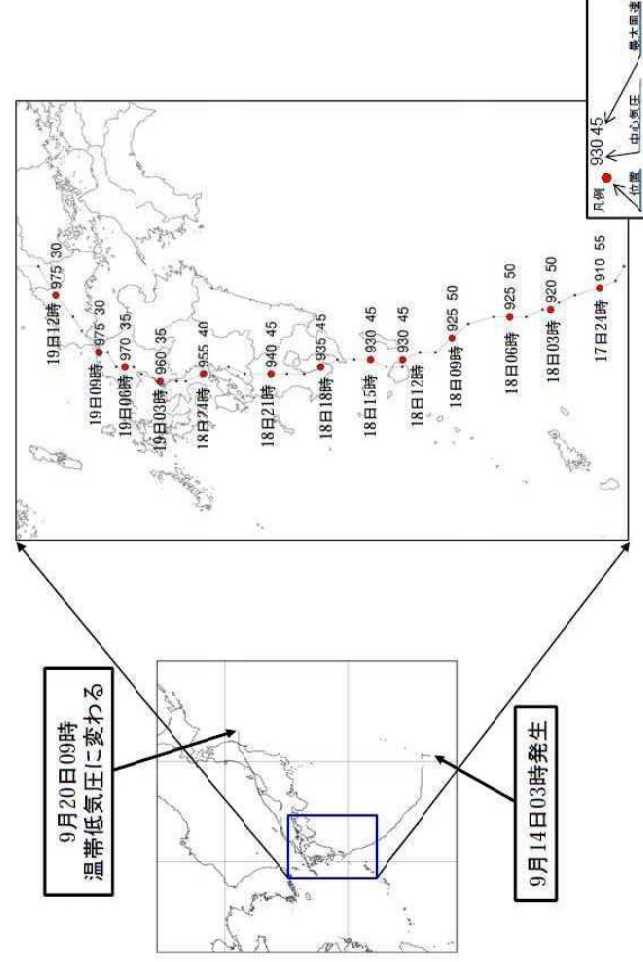


図 2.1-1 台風経路図

2.2 降雨

9月15日から19日にかけて、台風本体の雨雲が次々に流れ込み、雨が降り続き、18日昼前から19日未明にかけて局地的に猛烈な雨が降った。

台風第14号は、鹿児島県に非常に強い勢力で上陸後、九州の西側を北上したため、台風の暖かく湿った風が、九州山地の東側にぶつかって上昇気流となり、発達した雨雲が長時間続き、本県では、降り始めの15日から全域で大雨となり、美郷町南郷神門では、最大985mmの降水量があった(図2.2-1)。

アメダス総降水量の分布図(9月15日～19日)

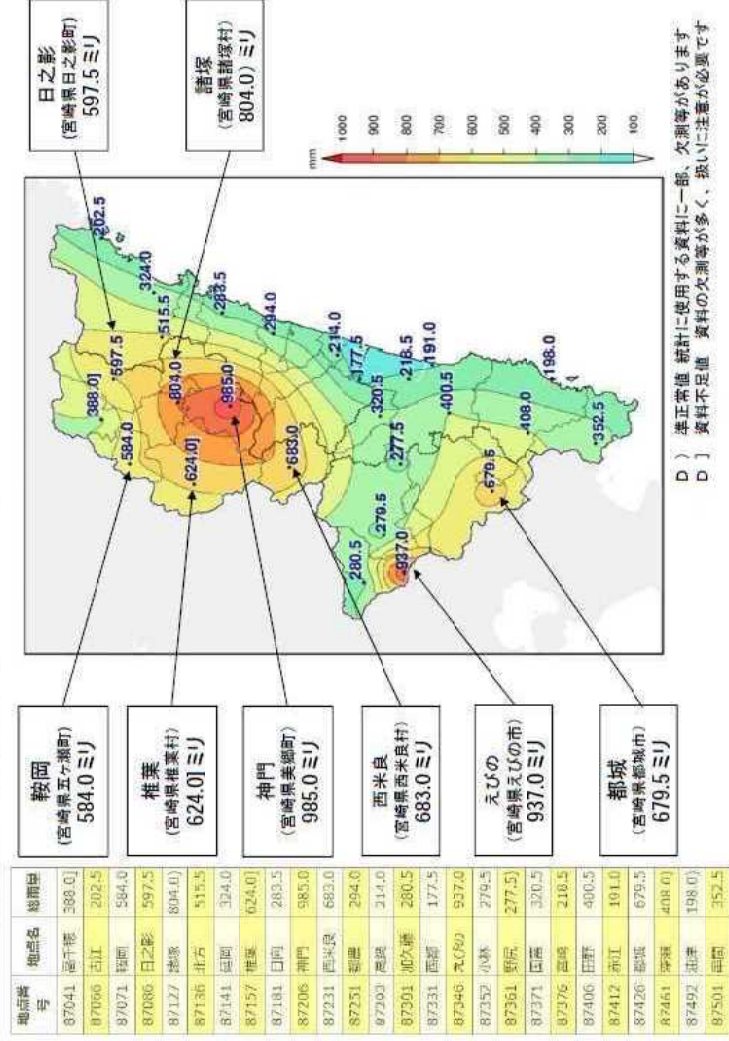


図 2.2-1 アメダス総降水量の分布図

1時間降水量は、椎葉で57.5)mm/h、6時間降水量は北方で214.0mm/6hを観測し、9月の統計開始からの最大値を更新した。

また、3時間降水量は、椎葉で149.5)mm/3h、日之影で131.0mm/3h、6時間降水量は椎葉で253.0)mm/6h、西米良で249.5mm/6h、日之影で228.0mm/6h、12時間降水量は、西米良で451.0mm/12h、椎葉で428.5)mm/12h、日之影で413.0mm/12h、都城で404.0mm/12h、北方で347.5mm/12h、高千穂で312.0)mm/12h、24時間降水量は、西米良で579.0mm/24h、椎葉で546.5)mm/24h、日之影で515.0mm/24h、48時間降水量は、椎葉で621.5)mm/48h、日之影553.5mm/48h、72時間降水量は、椎葉で627.0)mm/72h、日之影で563.5mm/72hの大雨となり、いずれも統計開始から最大値を更新した(表2.2-1)。

18日は、24市町村に土砂災害警戒情報が発表され、大雨特別警報(土砂災害)は、15市町村に及んだが、19日には大雨の危険度が低くなったため、11時00分に全ての大雨特別警報(土砂災害)が解除された。

- D : 降水量
- D 正常値 統計値を求めめる基礎となり資料が揃っている値
- D) 準正常値 統計に使用する資料に一部、欠測等を含む
- D) 資料不足値 資料の欠測等が多く、扱いに注意が必要

解析雨量の積算分布図(9月15日~19日)

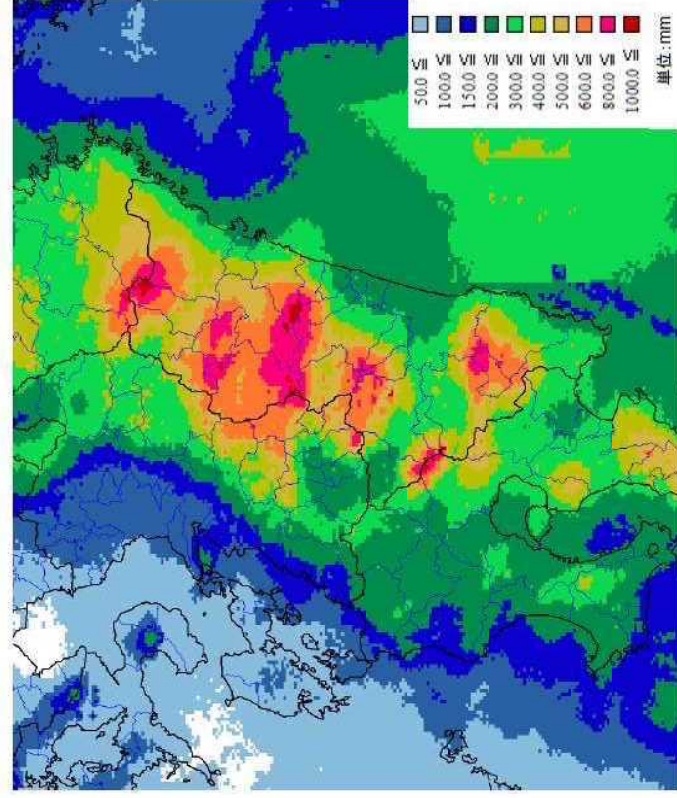


図 2.2-2 解析雨量の積算分布図

表 2.2-1 台風第14号による各観測地の最大降水量

台風第14号による各観測地の最大降水量

| 区分/観測地 | 椎葉 | 北方 | 日之影 | 西米良 | 高千穂 | 都城 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1時間降水量 | 57.5 | - | - | - | - | - |
| 3時間降水量 | 149.5 | - | 131.0 | - | - | - |
| 6時間降水量 | 253.0 | 214.0 | 228.0 | 249.5 | - | - |
| 12時間降水量 | 428.5 | 347.5 | 413.0 | 451.0 | 312.0 | 404.0 |
| 24時間降水量 | 546.5 | - | 515.0 | 579.0 | - | - |
| 48時間降水量 | 621.5 | - | 553.5 | - | - | - |
| 72時間降水量 | 627.0 | - | 563.5 | - | - | - |

単位：mm

※椎葉の1時間降水量57.5mmと北方の6時間降水量214.0mmは、9月の最大値。

2.3 暴風

台風北上に伴い、宮崎県では、17日明け方から20日未明にかけて、風速15m以上の強風域に入り、18日昼前から19日昼過ぎにかけて風速25m以上の暴風域に入った。

最大風速は、赤江で南南東の風28.2m(18日21時24分)、串間で東北東の風22.9m(18日9時31分)、小林で東の風22.8m(18時23分)の非常に強い風を観測し、串間、小林では年間の極値を更新した。

最大瞬間風速は、小林で東の風41.1m(18日14時11分)、田野で東南東の風39.4m(18日18時54分)、赤江で南東の風37.6m(18日20時02分)を観測し、小林、串間、加久藤、高千穂、日向、神門で年間の極値を更新した。(引用;宮崎地方気象台)